

宮本伸一 6つの挑戦

区議会議員

私は「一人に寄りそい、未来をひらく」をモットーに、1期4年間、都政、国政とも連携し、課題解決に全力で取り組んでまいりました。当選前は外資系海運会社に勤務し、激動する国際情勢のど真ん中に身を置いていました。また、私の母は60代で認知症を患い、その後、父も要介護となり、老老介護の苦労も痛感しました。これらの経験を活かし、文京区の未来をひらくため、全力で働いてまいります。

- 1 福祉の「断らない相談窓口」化を推進
- 2 「坂道買い物弱者」にAIオンデマンド交通を
- 3 専業主婦家庭のお子さんでも利用できる定期預かり保育の実現
- 4 病児・病後児保育施設・サービスの拡充
- 5 学校に通えない子どもたちの居場所づくり
- 6 要介護者・乳幼児にやさしい災害時の支援体制の拡充

1

2

きょうあい
狭隘な坂道でも運行できるAIオンデマンド交通や、福祉で困ったことは、どの窓口でもワンストップで対応する、福祉の「断らない相談窓口」化を推進いたします。また、物価高の痛みを和らげる文京区ならではの施策など、皆さまに「温もり」が伝わる行政サービスを目指します。

3

4

5

専業主婦の方でも保育園を定期利用できる一時預かり事業をはじめ、病児・病後のお子さんでも安心して預かってくれる施設・サービスの充実、またさまざまな理由で、学校に通えない児童とご家族への支援など、育児・子育てに優しい街づくりを実現します。

6

避難が困難な要介護者・乳幼児の方々も安心できる災害時の支援体制の拡充や、木造密集地域での感震ブレーカー設置助成、まちかど消火栓の使い方講習会の実施など、「もしも」の備えを先回りして万全な体制を率先して構築いたします。

講演会で区政報告

3月12日、林野会館にて「公明党文京総支部 第3支部 時局講演会」を開催。支部長である宮本伸一区議より、区政報告を行いました。さらに、ご参加いただいた来賓より挨拶を頂戴しました（右欄参照）。



「民間企業出身」だからこその実現力（岡本みつなり衆議院議員）

「輸入住宅会社を経て、外資系海運会社の日本支社に20年勤務した宮本議員。たった4年間でこれだけの実績を積み上げることができたのは、民間での経験がある宮本議員の強み」

「PayPayポイント事業」は宮本議員の実績（塩田博昭参議院議員）

「公明党の強い主張によって拡充された地方創生臨時交付金。これを活用し、区内商店街を応援するキャンペーンとして、PayPayの買い物に最大30%のポイント還元を推進したのは、宮本議員だ」

宮本議員の進言を常に区政に反映（成澤廣修文京区長）

「一人に寄りそう真面目な人柄。生活者の目線に立った政策の進言をいただき、常に区政に反映している。今後も宮本議員と、より良い文京の街づくりを考えていきたい」

お気軽にご相談下さい！

ひとりよ 一人に寄りそい 未来をひらく
みやもと しんいち

文京区議会議員

宮本伸一

子育て世代

国際
ビジネス
経験

認知症の
母と14年

公式ホームページも
ご覧ください！

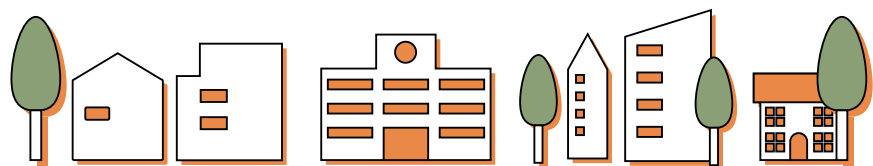


公明区議団が成澤区長へ

エネルギー価格・物価の高騰対策への緊急要望

エネルギー価格・物価の高騰により、光熱費等の負担も大きくなり、区民の生活や、中小事業者の経営に大きな打撃を与えています。公明党文京区議団は、これまで以上に「きめこまやかな支援が必要」として、3月23日、成澤廣修区長に対し「エネルギー価格・物価の高騰対策に関する緊急要望」を提出しました。地方創生臨時交付金を活用し、文京において以下の項目を早急に検討・実施するよう求めました。

- ① 低所得者世帯や高齢者世帯などに対しての速やかな支援
- ② 区内中小企業・小規模事業者等に対して、電子決済還元事業を行うなど、事業が継続・発展できる支援
- ③ 介護保険サービス事業者・障害福祉サービス事業者、保育施設・子育て支援施設に対して、**食材費・光熱費の補助の継続**。また区立小中学校の**学校給食食材費の補助の継続**。
- ④ 生活困窮者等に支援活動を行うNPO法人、子ども宅食や孤独・孤立対策に取り組むNPO等に対し、支援ニーズが急増している現状を踏まえて対応を図る



令和5年度予算が決定

公明区議団の訴えが大きく反映

● 学びの居場所架け橋計画

学級に馴染めないと感じている児童・生徒のために、学校内に居場所を確保し、指導員配置を推進。また、NPOと連携し、オンラインシステムを活用した支援を進めます。

● 带状疱疹ワクチン

公明党の後押しで、全国の自治体に先駆け、同予防接種費用助成制度を開始した文京区。带状疱疹予防の不活化ワクチンへの助成についても、文京区は23区で初めて決定していました。令和5年度は、対象年齢を50歳以上に拡大し、シングリックスワクチンを助成対象に追加します。

● 町会・自治会への支援

新型コロナウイルス感染症の影響で中止・縮小となっている、町会・自治会の活動を後押しするための支援を行います。

● 中小企業支援事業

現下の経済変動に対応するため、設備投資支援補助事業の拡充、経営相談支援補助事業の継続、「文京ソコチカラががんばるお店応援キャンペーン」を第3弾として拡充します。

● 「防災 × 共助」加速化プラン

中高層マンション等エレベーター閉じ込め対策経費の拡充、マンホールトイレの設置助成など、中高層マンションの防災対策を強化。さらに地域における共助の力の醸成するための取り組みを実施します。

● 新エネルギー・省エネルギー対策

住宅用太陽光発電システム設備設置費助成金額の拡充、自然冷媒ヒートポンプ給湯器設備設置費助成、高日射反射率塗料施工費助成などを行います。

● フードシェアリングサービスの提供

事業者と区が利用契約を締結し、WEBサイト上に設けられたフードシェアリングサービスを利用することで、事業系食品ロスの削減を図ります。

● おくやみコーナーの開設

死亡届後に発生する区役所内での様々な諸手続きについて、ご遺族の気持ちに寄り添い、不安や負担を少しでも軽減するため、「おくやみコーナー」を開設。必要な手続きを一括して申請できる仕組みを構築するとともに、ハンドブックを作成します。



公明党が物価高対策を後押し

物価高の影響が広がる中、公明党の主張で光熱費などの負担軽減策が、国でも実施されています。1月使用分から、電気代は家庭向けで1キロワット時当たり7円、都市ガス代は1立方メートル当たり30円が使用量に応じて値引き。ガソリンなど燃油価格を抑える補助と共に、9月まで続きます。

4月使用分からは、電気代に上乗せされている「再生可能エネルギー賦課金」が引き下げられ、標準世帯で月820円のさらなる負担軽減となる見通しです。

また、自治体を実施する物価高対策の財源（地方創生臨時交付金）を大幅に積み増し。LPガス（プロパンガス）料金や、学校給食費などの軽減策が進みます。低所得世帯には一律3万円のほか、追加で子ども1人当たり5万円を給付。多くの食品の原材料に使われる輸入小麦の政府売り渡し価格については、4～9月期も値上げ幅を抑えます。



成澤区長と物価高対策などについて
意見交換をする公明区議団